2008 年度

科目名	対象学科・学年	担当者
総合演習Ⅰ	教育教福１回生	三宅　奎介

授業テーマ

現在の社会の問題点を広く理解し、一般社会人としての課題の整理に向けて研究をすすめる。

授業の概要と目標

今、社会は激しく変化しています。地球温暖化はなぜ起こるのか、世界は人間尊重の方向を歩んでいるのか、開発途上国はどうなるのか、格差問題はどうか等、これからの教員として必要な多角的な視点でさまざまな問題点を探求します。

授業では受講者各自（グループ）がそれぞれ課題を見つけ、多様な観点から調査・研究をすすめます。特に、コミュニケーション力に視点をおき、プレゼンテーション・質疑・討論を重視した授業を進めます。

評価方法

授業目的の到達度の判断として

①発表内容（５０％　）②討論への主体的参加および授業への姿勢（２５％）③自己および相互評価（２５％）

を基準に総合的に決定する。

テキスト	著者	出版社
なし		

参考書	著者	出版社
適宜、参考書籍を紹介する。		

授業スケジュール・内容

第１講　オリエンテーション
・授業の内容と演習のすすめ方　・自己紹介

第２講　授業のすすめ方Ⅱ
・これからの社会の課題と人間のあり方

第３講　研究課題の設定
・現在の学校教育の課題の上に立ち、研究課題を検討し、計画を作成する。

第４講　今の世の中にどんな課題があるのだろう
・自然環境から　・国際社会から

第５講　人間はどうして豊かになれないのか
・開発途上国の生活実態　・ユニセフやNPO の活動

第６講　美しい地球を未来に残せるか
・開発と環境破壊　・水や食料の問題

第７講　課題解決の追求・研究①
・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。

第８講　課題解決の追求・研究②
・実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。

第９講　課題解決の追求・研究③
・仲間づくりの実践　・グループ活動の企画・交流

第１０講　研究報告会・評価会①
・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１１講　研究報告会・評価会②
・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１２講　研究報告会・評価会③
・研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１３講　研究報告会・評価会④
研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。

第１４講　課題の整理と研究のまとめ

第１５講　定期試験